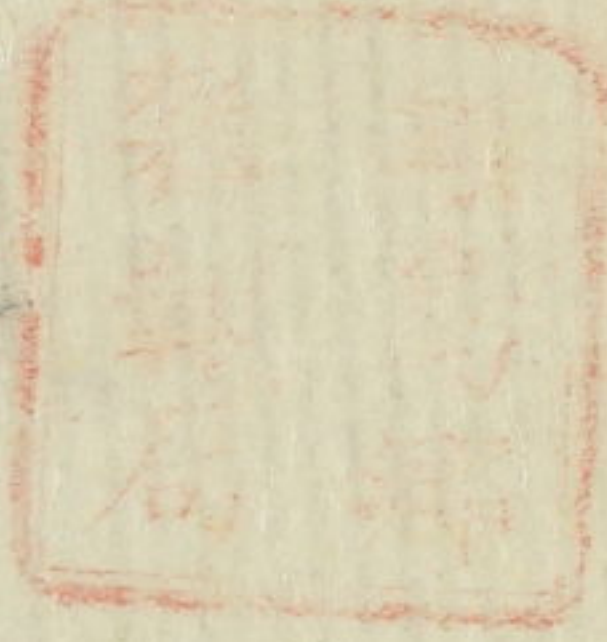


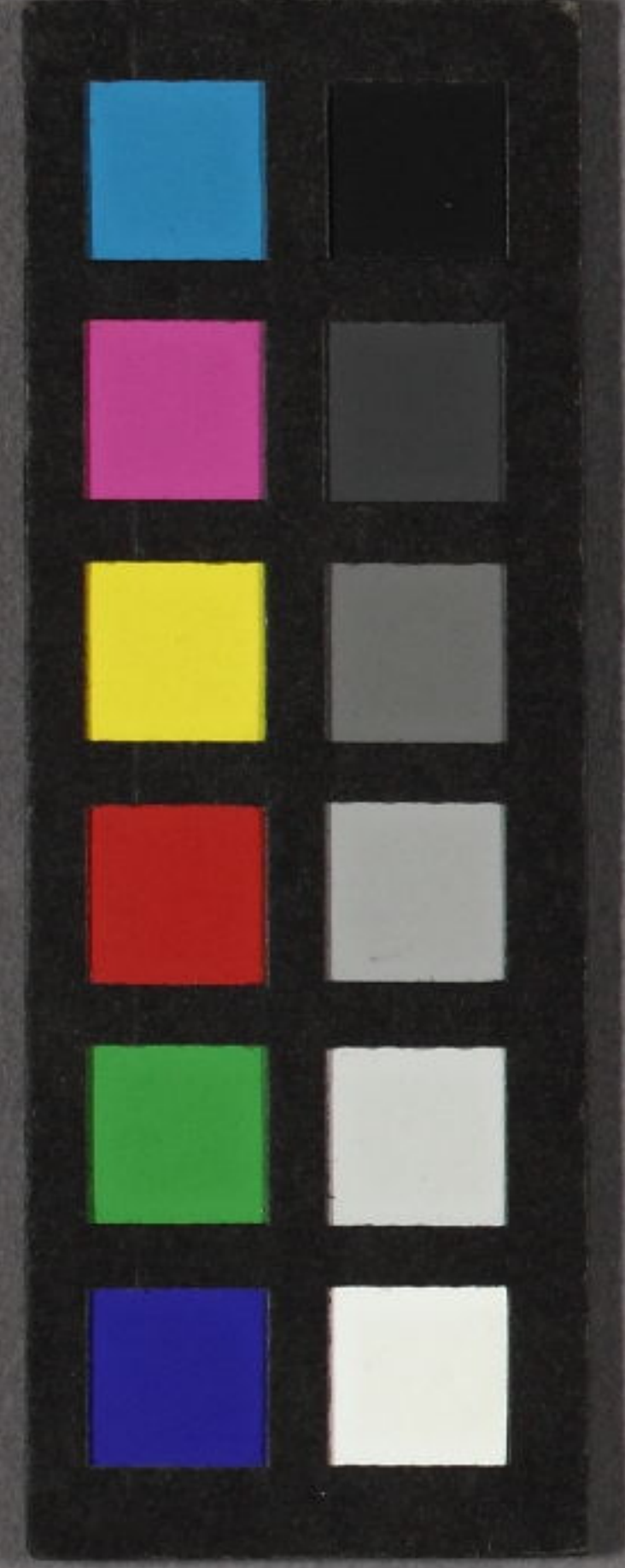
江湖新聞

第六號



定價八分

西垣文庫 
文庫 10
7287
18



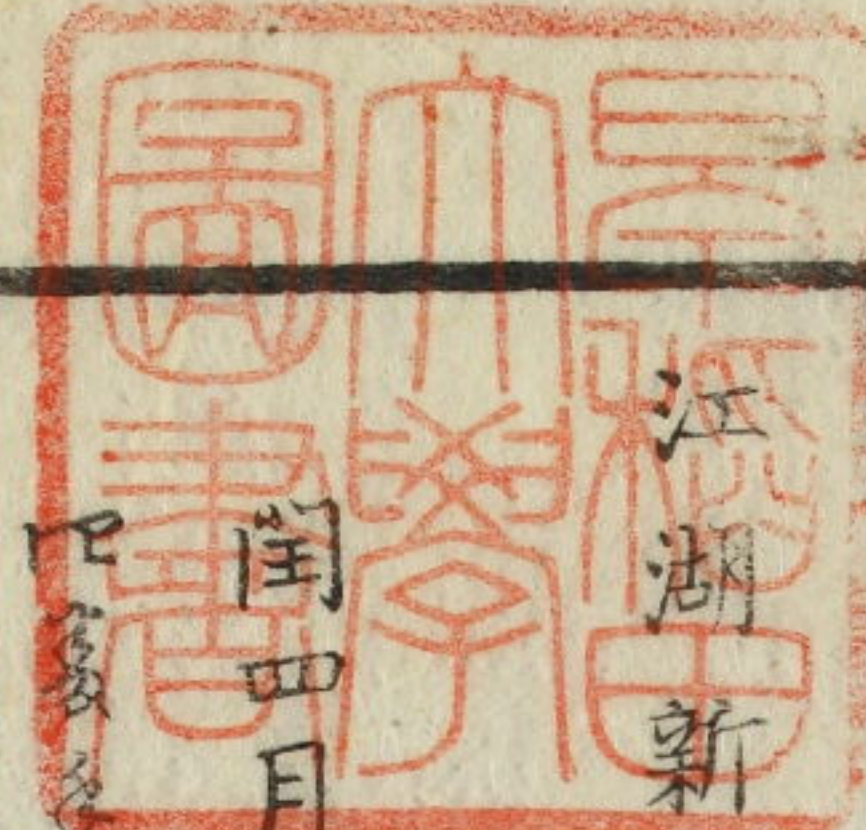
特文庫10
7287
18

江湖新聞

第十八号

慶應四年戊辰五月十日

西園文庫



○
閏四月廿七日官軍方一番手方田二表手松代三番手松平
加州五番手薩州長物右端藩の勢惣人数四千人
余米山崎へ發向し交會は脱走兵も同く米山崎へ出張し
戦多し及び官軍方へは表手迄探中し苦戦となりゆき薩長之
兵隊間道より進み撲合より衝出し以て有る軍抽かれとなり官
軍方の精勝推谷辺へ引上り合は脱走兵へ出雲崎へ引上り以て
當月七日夜某の藩邸へ罷御せし中誠せしむ

此戦より田侯の隊長松平加州侯の手に番取一人士多し十人卒

三百人程戦死を負ひ之に准^も下^も中^も且^も薩^も長^もの^も會^も討^も
兵の模合を御^ひ中^も御^も勢^もの^も之^も會^も兵^もありと見^も措^もち大^も
砲を打^もつけ^も一^も舟^もあ^も家^もの^も人^も救^もが^も換^もト^も會^も云^もも^も負^も討^も死^も
等^も有^も之^も中^も傳^も同^もせり

○
奥州^も素^も折^も元^も代^も友^も郡^も司^も代^も黒^も田^も節^も玄^も清^も小^も名^も漢^も郡^も司^も代^も
慶^も孫^も之^も弟^も友^も人^も之^も支^も死^も所^も而^も姓^も共^も不^も平^もを^も懐^もの^もよう^も一^も揆^もを^も
起^も一^も遂^も之^もあ^も郡^も司^も代^も一^も手^も向^もひ^もつ^も一^も舟^も右^も之^もあ^も人^も何^も方^も
死^も遁^も逃^もせ^も一^もう^も

○
閏四月廿七日官軍方奥州最上川之流を二り掛曉清川の
攻寄せ一に庄内惣不念を被^も討^もつ^も一^も車^もま^もね^もが^も兵^も隊^もを^も退^も
再び兵を集め引返せり官軍方へ船不^も争^もり^も上^も流^も一^も漕^も上^もり^も
たり庄内惣^もあ^も岸^もより^も之^も不^も獲^も砲^も一^も獲^も利^もを^も得^もたり^も

○
福清の関門ハ仙臺^も慶^もの^もを^も北^も園^も一^もに^も白^も川^も戦^も争^も之^も後^も何^も者^も
あ^も六^も人^もより^も下^もり^も関^も門^も不^も掛^もり^も一^も節^も書^も兵^も之^もを^も怪^も其^も身^も不^もを^も
同^も一^もに^も不^も分^も明^もの^も答^もを^もあ^も一^も後^もて^も通^もり^もせ^もん^もと^も以^も依^もり^もて^も番^も去^も之^もを^も
召^も捕^も一^も五^も人^もハ^も死^も刑^も之^も處^も一^も人^もハ^も何^も方^も一^も死^も連^もれ^も一^もは^も此^もの^も人^もら
或^もル^も言^も尖^もの^も内^も人^もより^も殺^もさ^もせ^も一^も五^も人^もハ^も其^もの^も附^も属^もあり^も之^も風^も統

有之よりなれども詳ある事を知らん

横濱新聞紙の條

東久世中將殿肥前侍従より英國之ニストルに在る
事一お成の書簡

海岸附近に地味を夜中兵器其外を陸揚せ或は船積其の
有之類兼り及以末右指之野業お働の若く遠處より召捕
其國のコンシールの引渡積りなれ不^レ正しく助お行ひ若く
兵器を所持しおの是れ向ふとのを^レ海軍よりおの是れ
旁の若く巡邏特別處を^レ設け中付る事^レ若くは向録^レ

双方之煙我有之ゆを字^レ之毒^レの間足下^レ之英國コンシールの
下令のり^レ英人^レ右指之振舞^レを^レ船積^レ有之ゆ指
被^レお成の事云

明治四年四月廿二日

肥前侍従 兼押
東久世中將 日

合衆國海軍總督ロビンソンと云人當月五日ピアウチア船に
長崎より横濱へ來着ありこの人の先年合衆國內亂の時
武功ありて人望を^レ得^レ總督より今度^レ末張の執曹^レ
君^レより^レ此船^レ合^レあり

ウオルカン船南五日去度より南港へ送船同新の横積お成

政事向之新同之長之り
酒井秀十郎といふ人去庫林戸運上所之長官之任せ
ら進之り

兵庫の兵易茶結糸甚之少之相場ハ大抵元之通

才之才 奥物糸 糸 百斤付 五百之於五分
五百之於五分

フダイ糸 同 形 四百八十九五分
四百九十五五分

誠前糸 同 形 四百四十五五分
四百又十五五分

並茶 同 形 九五分
九五分

中茶之茶 同 形 十七五分
十五分

上茶 同 形 或於五分
或於六五分

中茶之新茶 同 形 或於五分
或於七分

右之直派ハ茶葉上方筋之平地於物之ハ大抵上下也



五月三日官軍方鶴崎藩某 大塚督府ハ河沙治

高上野一系り 泚門主様此事 彰義隊之取也召
連与泚 宅城之遊音覺王院一申通廿一更此
程より不例之舟宅城之遊魚の取也答羽三四日
西四辻殿に誠覺王院の取面會也
泚門主様
泚不例の快方より押多し 宅城に於且覺王
院儀即日 宅城より更取と申達申交覺王院に持病
是物より舟名代と一く五日早船祿王院不舟外
所安由人宅城へ在出大度間迄申通り
大總督宮様也 舟取之上 泚門主様の取也舟筋等
何交取申上之更名代より沙汰治難と遊船と

泚門主様沙合快方より 泚宅城より取音程と
祠達存之 役方の同日上野一引取彰義隊取也
宅城より舟付官軍方より兵威を以て迫り不感
難計と之同隊より覺悟致し申
○増上寺山内警備之儀統隊のより申達申交と
以免申合日申引掛申合事
右之通統隊取申達申交事
○五月七日 大總督府より命あり三條大納言殿 不詳
芝増上寺一取誠方より取面會申成書寺一彰義隊
之者存之取右之恭順之筋より取申合日申

了る引掛とて依違のうへにありて己其力やも可
お用肯以沙法お來以同寺一結合以ハ院殿と河代と
操河其屋涉警備のうへに殿と殿と舟方大より陸軍
舟行氣のとお通以款拙る小院殿方と河其屋とと
釋以拙る殿有とてとお來とと八日九日と河別を
院殿増増増のうへに者を以て河其屋せるとあり

